

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策Ⅱ-2-3 高齢者福祉の推進
---------	---------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

高齢者福祉課長 稲田勝

電話番号

0852-22-5236

事務事業の名称	療養病床再編推進事業	
目的	(1) 対象	療養病床のある医療機関
	(2) 意図	療養病床の転換を円滑に進める
事業概要	療養病床の転換支援のため、医療療養病床から介護施設等へ転換する医療機関に対し、転換整備経費の一部を助成する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	療養病床転換推進計画に定める転換数の達成度合	目標値	100.0	100.0			%
	式・定義	実際の転換数/計画の転換数	取組目標値					
			実績値	100.0				
2	指標名		目標値					
			取組目標値					
	式・定義		実績値					%
			達成率	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	113,500	24,500
うち一般財源 (千円)	21,019	4,538

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成27年度転換実績

- ①転換医療機関：松江生協リハビリテーション病院
- ②転換病床数：実際の転換数227床/計画の転換数227床（100%）

6. 成果があったこと（改善されたこと）

平成26年度は転換の実績がなかったが、平成27年度は227床が介護老人保健施設に転換した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

療養病床を有している医療機関においては、転換に対して慎重な姿勢が見受けられる

②困っている状況が発生している「原因」

診療報酬・介護報酬改定や制度改正の動向を見極めたいとの意向が働いているためと考えられる

③原因を解消するための「課題」

国における診療報酬・介護報酬改定や制度改正の動向等の情報把握に努め、医療機関に対して情報提供を行っていく必要がある

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

今後、医療機関からの相談ニーズが高まることが予想されるため、相談に応じることができる体制を整えるとともに、国における診療報酬・介護報酬改定や制度改正の動向等の情報把握に努め、医療機関に対して適切な情報提供を図っていく。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）